



由布市 YUFU CITY COUNCIL 議会だより

No. **81**
2026年2月



津田貴之	渡辺彬	加藤裕三	高田龍也	長谷川建策		
吉村益則	坂本光広	田中廣幸	加藤幸雄	鷺野弘一	小山和義	生野友子
佐藤郁夫	淵野けさ子	佐藤孝昭議長	平松恵美男副議長	佐藤人己	甲斐裕一	

Contents

令和7年第4回定例会

概要・議案質疑 1

常任委員会報告 2~3

市政を問う(一般質問) 3~6

表紙写真の募集 6

請願・陳情結果、賛否一覧

特別委員会、編集後記等 裏表紙



由布市議会 20周年記念式典を開催します

由布市議会は、このたび20周年という節目を迎え、下記のとおり式典を開催します。
現職議員、歴代の議員が参加するほか、一般の方もご入場いただけます。
※席に限りがございますので、先着順でのご案内となります。

- 1. 主催** 由布市議会
- 2. 日時** 令和8年2月18日(水)
13:00~受付/13:30~開会/15:00終了予定
- 3. 場所** 由布市役所本庁舎 新館3階 議場
(由布市庄内町柿原302番地)
- 4. 内容** 講話、アトラクションなど
- 5. 問合せ先** 097-582-1340



令和7年 第4回由布市議会定例会 概要

令和7年第4回定例会が12月4日に開会し12月18日までの15日間開催されました。今定例会で上程された事件として報告13件、議案31件、請願1件を審査しました。請願1件は継続審査とし、議案は全て原案通り可決しました。概要は下記のとおりです。

★主な 提出議案

- ◎第三次由布市総合計画（基本構想・基本計画）の策定について
第二次由布市総合計画策定から10年が経ち、由布市を取り巻く経済・社会情勢が変化したことから、これからの10年のまちづくりに向けて策定。
- ◎由布市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ◎由布市子ども及び高校生等医療費助成事業基金条例の一部改正について

★予算

◎令和7年度由布市一般会計補正予算（第5号）

補正額 6億3,011万8千円 補正後予算額 270億597万9千円

- 湯平温泉復興まちづくり推進事業 …… 480万円
- 小学校施設整備事業 …… 598万1千円
- 中学校施設整備事業 …… 2,317万1千円
- 競技スポーツ振興事業 …… 121万3千円

◎令和7年度各特別会計補正予算

◎指定管理者の指定（ ）は指定先

- ・由布市ツーリストインフォメーションセンター（一般社団法人由布市まちづくり観光局）
- ・湯病院福祉センター（社会福祉法人由布市社会福祉協議会）
- ・おおつる交流センター（大津留まちづくり協議会） ・湯平ふれあいホール（湯平区）
- ・乙丸温泉館（乙丸区） ・里の駅陣屋市場（挾間町農村女性陣屋市場組合）

議 案 質 疑

第三次由布市総合計画（基本構想・基本計画）の策定について

◎第三次由布市総合計画の市民説明会参加者24名で市民への周知が十分か、ホームページ掲載の閲覧数はどの程度か。また、2035年目標人口3万1千人の中に外国人は算定されているのか。議会での質疑や意見は計画に反映されるのか。

▲説明会の参加者が少数だった為、ホームページ掲載とパブリックコメントを実施したが閲覧数は未把握。人口推計は県人口ビジョンを基に出生率1.84を用い、外国人は別途算定していない。議会意見は内容を踏まえ検討する。

大分市の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について

◎国が連携中枢都市構想を提唱しましたが、その目的・内容等について説明を。

▲活力ある社会経済を維持する為、大分市を連携中枢都市として別府市・臼杵市・津久見市・竹田市・豊後大野市・由布市・日出町での公共施設の相互利用を促し住民の支援、サービスの充実を目的とし、大分市の地域子育て支援拠点こどもルーム11か所・南部スポーツ交流ひろばが相互利用可能となっている。

令和7年度由布市一般会計補正予算（第5号）

◎高校生等医療助成事業について、その財源として防衛費（特定防衛施設周辺整備調整交付金）が現在使われているのか。

▲子ども及び高校生等医療助成事業基金のほうで防衛費をあてていたが令和5年度で終了している。また、防衛費については、基本地元での事業に活用していく。

◎地域コミュニティ形成促進事業、その中の地域まちづくり活動推進交付金505万円の詳細説明を。

▲交付団体は湯平地域まちづくり協議会。ふるさと納税を活用し湯平温泉の物産である「ゆのひらんアイス・ジェラート」のブランド強化と地域経済の活性化を図るための設備投資に対する交付金。

◎保育所活動推進事業の幼児教育支援促進事業費補助金159万4千円の減額について説明を。

▲幼児教育支援促進事業とは公立幼稚園、認可保育所の配置基準による均衡化、及び保育士の負担軽減を図るための事業。4・5歳児に限り保育所等で1名の教諭に対して園児20名を超えた人数分に対する補助金となる。今回のマイナス補正は当初の見込みより申請が少なかったため。

教育民生常任委員会

由布市湯布院福祉センターの指定管理者の指定について

選定委員会の審査を行い、候補者である「社会福祉法人由布市社会福祉協議会」が選定されたことにより、指定管理者として指定するもの。

令和7年度由布市一般会計補正予算（第5号）

歳出の主なものとして、予防接種推進事業450万9千円の増額は、高齢者带状疱疹ワクチン接種委託料が不足するため。委員会として、対象者には十分な周知啓発を行うよう意見を付した。

文化振興事業2万円の増額は、全国大会・九州大会に出場する2団体に対する活動激励金。なお今回のような大会等に出場する場合、その保護者にとっては負担額が大きく、大会参加のための補助金を検討してはどうかとの意見が出た。

競技スポーツ振興事業200万円の増額は、大分県ス

ポーツ合宿誘致推進協議会負担金として、強豪大学などのトップチーム2件を誘致するもの。委員からは、由布市の魅力発信や地域活性化に期待できることから今後も合宿誘致を行ってほしいとの意見が出た。

令和7年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ384万2千円を追加し、予算総額を39億8,087万3千円とするもの。

令和7年度由布市介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ1,705万8千円を追加し、予算総額を43億8,006万9千円とするもの。

令和7年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ93万2千円を追加し、予算総額を6億8,087万9千円とするもの。

産業建設常任委員会

由布市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

本議案は安定的な、し尿収集運搬体制の確保及び継続を目的に、し尿及び浄化槽汚泥処理を1L当たり1円65銭上げ11円に改め、併せて、ごみ処理体制の維持及び受益者負担の適正化を目的に、可燃ごみ及び不燃ごみの処理手数料（ごみ袋価格）を定めるもの。



委員会として令和9年開業の新環境センター整備に伴い、広域圏統一のごみ袋を制作し、ごみ袋手数料単価削減の検討を求めるとの意見を付した。

由布市観光情報発信拠点施設「由布市ツーリストインフォメーションセンター」の指定管理者の指定について

条例に基づく公募によらない令和8年4月1日から4年間の指定管理者選定を行った結果、引き続き「一般社団法人由布市まちづくり観光局」に指定するもの。

委員会としては、決算時に補助金に対する細目を開示するよう求め、過去にも自主運営・自主管理を行えるよう内部精査が必要であるとの意見が出ているので、自主財源での運営を基本とし、補助金額の減額を求めるとの意見を付した。

令和7年度由布市一般会計補正予算（第5号）

令和9年開業予定の新環境センター整備事業862万6千円の由布市分負担金の増額は、物価高騰により事業費が約590億円から約633億円（約7.3%増）になったため。また、就農支援事業50万円の増額は、親元就農給付金対象者が1名増えたことによるもの。

公共土木施設災害復旧費として500万円を増額し、災害復旧後も万全な市道を確保するための測量設計委託料を計上するもの。

令和7年度由布市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）

農業集落排水事業会計予算における収益的収入・支出それぞれ増額する補正予算。

	補正額	総 額
収益的収入	197万4千円	9,283万円
収益的支出	28万5千円	1億1,077万3千円

令和7年度由布市水道事業会計補正予算（第3号）

収益的支出・資本的収入支出で増額補正を行い、水道事業の安定的な運営を図る内容、事業の継続性と公共性が確保されていると判断したもの。

	補正額	総 額
収益的支出	1,913万4千円	8億8,590万5千円
資本的収入	8,975万円	7億5,794万7千円
資本的支出	1億2,052万6千円	10億9,830万7千円

総務常任委員会

第三次由布市総合計画(基本構想、基本計画)の策定について

今後10年間の市のまちづくりの方向性を示す最上位計画として基本理念や将来像が掲げられ持続可能な市の発展を目指す具体的な施策を示す計画。

委員会からは施策を着実に実行すると共に進捗状況を定期的に確認し評価を行う事が必要と意見が出た。

指定管理者の指定について

令和8年3月末日をもって指定管理期間が終了する「おおつる交流センター」「湯平ふれあいホール」「乙丸温泉館」それぞれの指定管理者を指定するための議案であり現地視察で指定管理候補者から伺った意見も踏まえ今後もサービス向上に努めるよう意見が出た。

令和7年度由布市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億3,011万8千円を追加し歳入歳出の総額を270億597万9千円とする議案。

歳入では地方特例交付金(新型コロナウイルス感染症対策による地方税の減収補填)や国庫支出金、県支出金、地方債等の増額が計上されている。

歳出では地域コミュニティ形成促進事業ゆのひらプロジェクトに対し「地域まちづくり活動推進交付金」が充てられ委員会として地域活性化につながる様に魅力発信に努めるよう意見が出た。



＼市政を問う／

ここが聞きたい！

一般質問



「環境行政について」
他

吉村 益則 議員

Q 環境行政について。

A ゴミ減量化や分別、リサイクル等の推進は重要な取り組みとして捉え、各学校への出前授業や啓発活動、ゴミ処理機のレンタルや導入補助事業を行っている。「ポイ捨て防止条例」の施行により市民の皆さんより街が綺麗になったと聞く。これからも「お互い箱」の設置や啓発パトロール等を行うと共に地域のクリーンアップ協議会と連携し取り組む。来年度からの環境基本計画の策定にあわせてゼロカーボンシティ宣言を行いたいと考えている。

Q 湯布院健康温泉館について。

A 施設整備は優先順位を決めて随時行っていく。また、利用料金は市内の類似施設との比較を行いながら実施する予定。大規模改修は令和10年度から全体の空調、全体の内部改修と排水管の更新、屋根屋上の防水工事、外壁工事と順次行う。日本クアオルト協議会の大会が令和8年7月に由布市で11年ぶりに開かれるので万全の準備を進めて行く。

その他、湯平の復旧復興について伺いました。



「商工観光の発展を目指した行政改革について」
他

津田 貴之 議員

Q 商工観光の発展を目指した行政改革について。

A 課を分けることのメリットやデメリットなどを整理し、由布市行政全体的な機構改革、組織改編の中で議論をする必要あると考えている。

Q 由布高校の活性化と、生徒数増加に向けての取組について。

A 大変重要であり、由布市教育委員会の最重点施策の1つでもあります。連携型中高一貫教育は、「由布のひと・もの・こと」を通して学ぶ「由布学」を高校においても取り組んでいるところであり、地域から学び、地域を好きになり、地域で活躍できる人材の育成にも努めているところであります。

Q 湯布院地区の防災対策について。

A 県及び国に対しても要望活動を続けてまいります。今後も、河川管理者である県と連携を密に取りながら、市民の安心安全につながる施策を進めてまいります。

ほかに「久大線のバリアフリー化」「由布高校の部活動連携」「湯布院山崎地区の防災」などを質問しました。



「くすのき児童クラブ」跡の施設利活用を「こどもルームはさま」が活用できないか」他

田中 廣幸 議員

Q 「くすのき児童クラブ」跡の施設利活用を「こどもルームはさま」が活用できないか。

A (市長)「こどもルームはさま」においては、数字が示すとおり、利用者数の飛躍的な増加とコロナ禍での貢献、活動範囲の拡大、専門性の高い相談支援の充実等、ニーズの高い挟間地域の子育てを支えていただく重要な役割を担っていただいている。

(課長)行政財産使用許可申請書が未来クラブから提出されています。これから由布市公有財産管理委員会にて審議する。令和2年の請願採択後令和7年まで2度協議を行った、公平公正な立場で最終決定をしたい。

Q 谷小学校相撲場の土俵の再生について。

A 相撲自体が授業の一端という考えはない。安心安全な学校施設面で運動場で遊ぶ指導をする。優先順位をつけながら整備していく。この在り方については今後検討はしていきたい。

その他、投票率を上げる工夫と不在者投票にQRコード化を。



「八山橋はいつ完成しますか」他

加藤 幸雄 議員

Q 八山橋はいつ完成しますか。

A 令和7年度に橋全体の工事を実施。令和8年度から9年度にかけて、新しい橋の取付道路工事を実施し開通となります。

Q 中川・下湯平線の改修整備状況について。

A 令和7年度は、改良工事に必要な土地の用地測量を実施。用地交渉及び登記事務を行います。用地の準備が出来次第工事に着手します。

Q 下湯平から何処までの工事を行うのか。

A 今回の事業は、210号線から900mの工事区間を予定しております。

Q 湯平院から行く部分は考えていないのか。かなり傷んでいるが。

A 水地から中川方面は近年木の伐採がかなり進んでおり、危険と思われるところは、何らかの処置をやっていきます。

Q 太陽光発電の工事をやった後、谷に変な水が流れました。後処理の確認は。

A 今回、通報を頂いた場所の水質検査を事業者にさせました。有害物質等の下限値未満でした。指導できる範囲で対応に当たります。

Q 由布市の令和7年度総合計画について、人口減少の歯止めは他の自治体を参考にしていますか。

A 大分県が策定した人口ビジョンを参考に、10年度の令和17年、2035年の人口を3万1,000人とする目標を設定しております。今後の人口減少に対する取組みは、他の自治体も参考にします。



「今後の子育て支援のあり方取り組みについて」

生野 友子 議員

Q 就学、未就学児の受け入れ等子育てに関する支援は今後どのように進めるのか。

A 由布市の子育て施策については、令和7年3月に策定した「由布市こども未来計画」に沿ってすべての子どもが健やかに成長できる環境づくりに取り組んでいる。

未就学児の受け入れについては、保育所の整備を進め利用ニーズに応じた必要量の確保を図っていく。また保育士確保対策として保育士宿舍借り上げ支援事業、保育補助者雇上強化事業、人材確保支援事業を行っている。

Q くすのき児童クラブの跡地利用について

A こどもルームはさまを運営しているはさま未来クラブから行政財産使用許可申請書が挟間地域振興課に提出されている。今後、由布市公有財産管理委員会にて審議される。

※この他、保護者の皆様の困りごとの具体例として「由布市こども未来計画」のアンケートを参考に質問しました。



「市内の体育館のエアコンの設置状況について」他

平松 恵美男 議員

Q 市内の体育館のエアコンの設置状況について。

近年の高温は異常値で体育館でのスポーツは体調不良が心配され健康上も問題があり早急な対応が必要である、今後のエアコン設置について教えてください。

A 市内にある体育館は小中学校が14施設、社会体育施設が4施設あり、現時点でエアコン設置されている体育館はありません、小中学校においては文部科学省の空調設備臨時特例交付金が活用できる令和15年度までに早い段階で整備したい、社会体育館施設の体育館は待合室部分への空調設備を年次ごと進めて行きたい。

Q 大分県の「にぎわい創出ができるスポーツ施設」について。

大分県は「にぎわい創出ができるスポーツ施設」の検討を本年度から始めている、具体的な事業内容と新設の計画があれば由布市に誘致できないか。

A 大分県内にある主要スポーツ施設の現状を調査し、地域活性化に資する施設の方向性やあり方を検討する県の事業と理解している、調査結果次第になるが新設の計画となり大分県内で候補地を探索することになれば、由布市誘致について検討も可能であると考えている。



「地域開発に伴う対応
及び環境整備について」
他

加藤 裕三 議員

Q 地域開発に伴う対応及び環境整備について。

A 開発の総量抑制は、旧町で制定されている条例で運用。現在、条例等で自然環境、景観、まちづくりの歴史、適正規模等を理解いただき、開発を一定程度抑制し持続可能なまちづくりを構築できると考えている。

Q 特定防衛施設周辺整備調整交付金について(八山橋改修)。

A 令和9年度事業については、実施中事業の継続を検討している。八山橋は今年度上部工が完了し令和9年度には通行ができる見込み。10年度に旧橋梁を撤去し事業完了する予定。

Q 中学校部活動の地域展開について。

A 現時点で予定している地域展開する部活動は、挟間中はサッカー、バレーボール女子、硬式テニス。湯布院中は剣道、ソフトボール。今後、指導者確保等が整い次第休日を地域クラブは展開する。多くの予算が必要となり認定された地域クラブに対して行う予定。

その他「由布岳登山口周辺の観光客立ち入り状況と今後の対応」。



「マイクロバスを使用し
ての移動投票所の導入
はできないか」他

鷲野 弘一 議員

Q 今回の市議会議員選挙投票率に際し、今後の改善点として投票所まで行けない人のため、佐伯市が導入したマイクロバスを使用しての移動投票所の導入はできないか。

A 前回の選挙がありました平成29年の投票率71.88%より16.12%減少しています。また、期日前投票者が投票者全体の45%を占めています。移動期日前投票所について検討の余地はありますが、手間と経費がかかります。現在検討しているのはタクシーを利用しての移動はどうかです。

Q 身体障害者手帳等級判定が近隣の大分市と由布市では認定(等級)、大分市が良いのか。

A 由布市の認定は身体障害者福祉法及び施行規則に基づき、申請により県知事が審査し交付します。大分市は中核都市のため大分市長が審査し交付します。申請の際、指定医師の診断書、意見書が必要で、その内容により法や規則、厚生労働省通知に基づき、手帳の該当、非該当や等級を認定しています。県と大分市の別々の審査委員会をするためです。



「物価高へ即効性の支援を!国からの交付金の配分額はどのくらいか」他

淵野 けさ子 議員

Q 物価高へ即効性の支援を!国からの交付金の配分額はどのくらいか?

A 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金にかかる由布市にはまだ示されていないが、国からの令和7年度補正予算規模が2兆円で昨年の3.3倍程増加しているので、大きく上回ると想定している。スピード感をもって感じられるような商品券配布等の事業を実施します。

Q 喜多里団地の市道ひび割れについて。市道の空洞化調査を要望します。

A 9ヶ所の観察場所で、1ヶ所だけひびのすき間が1年3ヶ月で6ミリ開いているが変化がありません。今後もひびの経過観察を続けるとともに空洞調査についても検討してまいります。

Q 給食の無償化はありがたいが給食の内容の質が落ちていないか?他からの意見はないか?

A 給食の感想については検食簿を通じ、各校各園の状況把握に努め、ご意見を頂戴するため適時給食のあり方工夫を重ねているところです。

その他、福祉の充実、住宅改修費の支給制度について。



「災害復旧工事の現状について」

甲斐 裕一 議員

Q 昨年の台風10号により、由布川流域にある小平井路が大変な災害にあい、通水ができない状況でした。耕地災害復旧工事の認定は受けたが、工事の工法について国との協議が進まず、今年は稲の作付ができなかったのが実状である。この井路がもたらす力は①耕作地への水の配給、②数百条からなす由布川峡谷の滝の景観、③大火災時の消火水、といった非常に大切な役目を担っている。このような現状を踏まえ、地元では11月から毎日のように隧道の土砂除去作業を行っているが、市の災害復旧工事の作業はどのような状況なのか。市の担当職員には御苦労をかけるが、来年3月までとは言わぬが、せめて5月までの通水は考えていただきたい。

A (農林整備課長) 工事の工程として、二つの頭首工があり、まず第2頭首工の入札を12月中に行い、第1頭首工を1月末までに実施したいと考えている。また、入札不調がなければ来年の作付に間に合わせたい。(市長) 地元の方々の御苦労、小平井路の重要性、長い歴史は十分認識している。また、職員も努力しているが、現場の悪条件を考慮し工事の発注を早く行い、来年は田植ができるよう取り組んでいく。



「若者・子育て世代への 広報は十分届いている か」他

渡辺 彬 議員

Q 若者・子育て世代への広報は十分届いているか。

A 市は市報・ホームページに加え、公式アプリ「ゆふぽ」やLINEで情報発信。子育て世代向けポータルサイトを整備し、若い世代に届く広報の在り方も研究・検討する。

Q ライドシェア導入の検討状況は。

A 現在はコミュニティバスやデマンドタクシー等で移動手段を確保。高齢者の移動支援は課題と認識しており、先進自治体の事例を参考に、関係課と連携して今後の対応を検討する。

Q 保育園留学への考えは。

A 子育て世代の関係人口づくりや移住促進につながる可能性がある。保育所の受入れ体制、空き家・宿泊施設の活用など中期滞在環境の課題を整理し、先進事例を参考に研究する。

Q 市民の安心と暮らしの未来のために、今日の質問、提案を前向きにご検討いただければ幸いです。

※このほか、こども誰でも通園制度についても、制度の在り方や受入れ体制の課題を質問しました。



「高齢者等が地域で住み続けられる体制確保について」他

佐藤 郁夫 議員

Q 高齢者等が地域で住み続けられる体制確保について。高齢者等の移動手段対策を聞く。

A 現行運行のコミュニティバスに加え、デマンドタクシーのエリア拡大、庄内地区では10月から国道往復の循環コースの実証実験を行っており、湯平地区ではまちづくり協議会が車を購入し、介護予防教室への送迎など住民の生活向上に努めている。

Q 買物弱者対策について。

A 由布市暮らしの応援隊が、高齢者を対象に買物代行や買物同行などのお手伝いをしている。コープなどが宅配サービスを、イオン九州が庄内地区の一部と挾間地区の一部、湯平地区に移動販売車の運行を行っている。

Q 災害復旧の進捗状況について。

小挾間新井路及び小平井路の復旧状況は。

A 両井路とも簡素化査定で受けており、工事発注までには農政局への計画変更が必要です。隧道については、規模や金額が大きいことから国と工法の事前協議をし、工法決定後に詳細設計し計画変更を経て工事発注を行う予定です。



「指定管理について」他

高田 龍也 議員

Q 指定管理について。

由布市ツーリストインフォメーションセンターの指定管理者である由布市まちづくり観光局への補助金額、その使途と市民還元の検証状況はどうなっているのか。

A 令和6年度補助金は約2,359万円、累計約2億3,547万円で、主に人件費に充てている。観光は基幹産業であり、官民協働で推進しているが、全額自主財源での運営は想定していない。成果指標や効果検証については、今後整理し提示する考えである。

Q 土葬について。

土葬や墓地新設について、環境影響や政教分離の観点から懸念がある。水質や景観への影響評価はどのように行い、特定宗教への配慮が憲法に抵触する可能性をどう考えるか。また国・県から要望があった場合の対応方針は。

A 市内12か所で年2回水質調査を実施し、影響が予測される場合は設置を認めない。宗教的理由のみで特別な配慮は行わず、公平性を重視する。要望等は情報公開し、市民意見を踏まえ対応する。

「由布市議会だより」の 表紙写真も募集中！

年4回（5月・8月・11月・2月）市内の全世帯に届けられる「由布市議会だより」表紙をあなたの写真で飾ってみませんか？

募集する写真

「由布市」をテーマとした、人物、四季折々の風景、お祭り、地域行事などの写真。

応募方法

市議会ホームページ、議会だよりのページにある受付フォームに沿って必要事項を入力し、応募することができます。

応募締切日

次回、5月発刊号の表紙写真
応募の締切日は
令和8年4月10日です。

※応募条件、応募上の注意点、
選考方法等の詳細については
「募集要領」をご覧ください。



（市議会HPへのリンク）



応募
フォーム、
募集要領
はこちらに
あつては
いませう



■令和7年第4回定例会で審査した請願・陳情の結果

区 分	件 名	代表提出者	結 果
請願 7	「有害鳥獣捕獲報奨金の増額」に関する請願書	一般社団法人 JAPANハンティング協会 代表理事 三重野 丈一	継続審査

■賛否一覧表 [令和7年第4回定例会] 上程された議案については全員一致で可決されたので、一覧表は省略します。

特別委員会一覧表

(◎：委員長 ○：副委員長)

委員会名	委 員 氏 名	
議会広報編集 特別委員会 (9)	◎高 田 龍 也	○津 田 貴 之
	鷲 野 弘 一	加 藤 幸 雄
	田 中 廣 幸	吉 村 益 則
	小 山 和 義	生 野 友 子
	渡 辺 彬	
委員会名	委 員 氏 名	
議会活性化調査 特別委員会 (9)	◎佐 藤 郁 夫	○生 野 友 子
	甲 斐 裕 一	加 藤 幸 雄
	平 松 恵美男	加 藤 裕 三
	小 山 和 義	津 田 貴 之
	渡 辺 彬	
委員会名	委 員 氏 名	
日出生台演習場対策 特別委員会 (10)	◎長谷川 建 策	○坂 本 光 広
	鷲 野 弘 一	加 藤 幸 雄
	加 藤 裕 三	田 中 廣 幸
	吉 村 益 則	高 田 龍 也
	小 山 和 義	津 田 貴 之



編 集 後 記



二月は、新しい一年の始まりを感じるとともに、新年度に向けた準備が少しずつ動き出す時期でもあります。市議会においても、予算審議をはじめとする大切な議論が進み、市民の皆さまの暮らしに関わる判断が求められています。前任の委員会の皆さんは、市民の皆さまに親しみやすく、読みやすい議会だよりを目指し、丁寧な編集を重ねてこられました。その想いを大切に受け継ぎながら、私もまた、議会の動きや考え方が身近に伝わる紙面づくりに努めてまいります。本誌が、市民の皆さまと議会をつなぐ、ささやかな架け橋となれば幸いです。

委員長 高田 龍也

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解を
よろしくお願いいたします。

由布市議会ホームページ

由布市議会に関する情報を
随時お届けします！



次の由布市議会は2月25日(水)に開会予定です(令和8年第1回定例会)